



エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 山本 公一 殿

平成28年8月12日

富士通株式会社
代表取締役社長

田中 達也

富士通グループは、ICTの利活用を社会全体に広げ、革新的なテクノロジーを創出するなど、事業活動を通じて、地球環境をはじめとして広く社会課題の解決に貢献していきます。また、ICTのリーディング企業として、お客様やパートナー、お取引先とのグローバルなバリューチェーンにおいて社会と協働し、持続可能で豊かな社会の実現を目指します。

1. お客様・社会の環境負荷低減に貢献します

- ICTの提供によってお客様や社会の温室効果ガス排出量の削減に取り組み、気候変動の緩和に貢献します。2020年度において国内で年間3,000万トンの温室効果ガス排出量の削減に貢献します。
- ヒューマンセントリックイノベーションにより、気候変動に対する緩和と適応の両面で、社会の持続可能性に貢献するソリューションとプロダクトの提供を拡大します。
- 新製品の資源効率を、2018年に2014年度比15%以上向上し、エネルギー効率トップレベル製品の割合を2018年度に50%以上にします。
- 生物多様性などの社会・環境問題の解決に向け、資金、技術、人材などを支援するとともに、社員が取り組む社会貢献活動を拡大します。

2. 自らの事業活動における環境負荷を低減します

- 事業所における温室効果ガスの総排出量を、2018年度に国内で2013年度比5%以上削減、エネルギー消費原単位を年平均1%以上改善します。
- 主要なデータセンターの環境パフォーマンスを向上します。
- お取引先や輸送など、バリューチェーン全体のCO₂排出量削減に取り組めます。

富士通グループは、上記の取り組みの進捗状況を確認し、環境省へ報告するとともに、「富士通グループ環境報告書」などにより公表を行っていきます。